



年 組 名前

道新ワークシート

成熟の19歳 令和の頂へ

藤井三冠



史上最年少の19歳1カ月で三冠を達成した将棋の藤井聡太新叡王=13日夜、東京都渋谷区の将棋会館（日本将棋連盟提供）

将棋の藤井聡太王位・棋聖(19)が叡王を奪取し、史上最年少の19歳1カ月で三冠を獲得した。平成時代の第一人者、羽生善治九段(50)が樹立した22歳3カ月を大幅に更新。10代初の三冠保持者が令和のトップに向けて、驚異のスピードでまた一歩前進した。

AIで研究 驚異の成長

羽生九段の初タイトルは1989年、竜王を当時の最年少19歳3カ月で奪取した。現在の最も若い記録、

藤井新叡王の17歳11カ月と同じ10代だった。だが、羽生九段は翌年に竜王を失冠したこともあり、二冠は21

羽生九段が10代の頃は、対局のペースをつかむのに重要な序盤、中盤の駒組みが粗削りだった。藤井新叡王は人工知能(AI)を用い

て研究している成果で既に成熟の域に達しつつある。現在の将棋界は、渡辺明名人・棋王・王将(37)、豊島将之竜王(31)、藤井新叡王・王位・棋聖、永瀬拓矢王座(29)の4強といわれる。藤井新叡王は7月3日、棋聖戦5番勝負で渡辺三冠に勝利。豊島竜王との「12番勝負」となった王位戦7番勝負は8月25日に4勝1敗で、叡王戦5番勝負は3勝2敗でそれぞれ勝った。この3タイトル戦で強者を連破、高いハードルをクリアしたことは今後の覇権争いに大きく影響する。

羽生九段と数々の名勝負を演じた日本将棋連盟の前会長・谷川浩司九段(59)は「羽生九段は23、24歳で第一人者となった。藤井新叡王は(渡辺三冠と豊島竜王を破ったことで)19、20歳で一気にその道が開けてくる」と話す。

藤井聡太新叡王の歩み

2002年7月19日	愛知県瀬戸市で生まれる
16年10月1日	最年少の14歳2カ月でプロ入り
12月24日	プロデビュー戦で加藤一二三・九段に勝利
17年6月26日	デビューから最多の29連勝達成
18年2月17日	朝日杯オープン戦で中学生初の棋戦優勝、六段に昇段。15歳6カ月は最年少記録
19年2月16日	朝日杯オープン戦で2連覇
20年7月16日	棋聖を奪取し、最年少17歳11カ月でタイトル獲得
8月20日	王位を奪取して最年少18歳1カ月で二冠に。八段に昇段
21年7月3日	棋聖初防衛。18歳11カ月での九段昇段は史上最年少、タイトル防衛も最年少
8月25日	王位初防衛
9月13日	叡王を奪取し、最年少三冠

将棋のタイトル 保持者一覧 [敬称略]

棋戦名	棋士名
竜王	豊島 将之
名人	渡辺 明
王位	藤井 聡太
王座	永瀬 拓矢
棋王	渡辺 明
叡王	藤井 聡太
王将	渡辺 明
棋聖	藤井 聡太



年 組 名前

道新のワークシート

①「成熟の19歳 令和の頂へ」という見出しの説明として適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア 藤井聡太三冠が令和になってプロになったことを強調している。
- イ 藤井聡太三冠が19歳で初めてタイトルを取ったことを示している。
- ウ 藤井聡太三冠の今の実力が将棋界の頂点に達したということを暗示している
- エ 藤井聡太三冠を平成の第一人者である羽生善治九段と比較して表現している。

②記事最下段に「この3タイトル戦で強者を連破」（傍線____の部分）とありますが、「強者」とは誰のことですか。二人書きなさい。